

## コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2022年12月4日

新型コロナ：退院から90日以内の再入院に関連する因子：退役軍人データ  
日本の定点あたりインフルエンザ報告数（最新）：厚労省データ

### 【松崎雑感】

アメリカの退役軍人医療システムのデータです。喫煙歴ありは、急性期を乗り越えて退院しても、非喫煙者よりも再入院するリスクが45%高いというデータでした。人工呼吸器治療を受けて救命されて退院にこぎつけた人々の再入院率に近い高率でした。タバコを吸うと、新型コロナ感染リスクと重症化リスクが増加すると同様に、再入院のリスクも高いことがわかりました。  
ところで、インフルエンザも注意怠りなく。

# 新型コロナ：退院から90日以内の再入院に関連する因子：退役軍人データ

Weaver FM, Niederhausen M, Hickok A, et al. **Hospital Readmissions Among Veterans Within 90 Days of Discharge Following Initial Hospitalization for COVID-19.** *Prev Chronic Dis*. 2022;19:E80. Published 2022 Dec 1. doi:10.5888/pcd19.220200

## はじめに

コロナパンデミックの最初の10か月間の米国退役軍人医療システムのデータに基づき、新型コロナ感染者の退院後、90日以内の再入院に関連する因子を検討した。

## 方法

2020年3月1日から12月31日に新型コロナ感染で退役軍人病院に入院し、退院した人々を90日間追跡して、再入院率を検討した。

## 結果・結論

この期間の入院数は20414名、うち13%（2643名）が入院中に死亡。

退院者（サバイバー）17771名中16%（2764名）が90日以内に再入院した。

退院から再入院までの平均日数は21.6日。入院期間が長い、人工呼吸器治療を受けた（オッズ比1.61）、基礎疾患が多い、**現在喫煙者（非喫煙者の1.45倍）**、都市居住者（郊外居住者の1.54倍）、医師のアドバイスに反して退院などが再入院リスクと有意に関連していた（すべて  $p < 0.02$ ）。

2020年前半よりも後半に入院した人々も有意に再入院リスクが高かった。

退院患者の6分の1が、90日以内に再入院していた。

2020年後半期に再入院者が多かったのは、入院ベッドがひっ迫したため、必要な場合よりも早期退院を強いられたためと考えられる。

# 【日本の定点あたりインフルエンザ報告数：厚労省データ】

(今年の第47週は11月21日から)

元旦からの週数	総報告数	昨年同期
47	535	27
46	546	19
45	407	28
44	270	23
43	153	20
42	106	13
41	97	10
40	68	10
39	51	5
38	78	3

ちなみに、コロナパンデミック前、の平年の11月はじめの総報告数は1千人から数千人でした。